

第3節 市民の生涯を通じた学習の振興

1 学習活動の充実と支援

心の豊かさや生きがいのための学習、新たな知識や技術の習得など、学習への市民のニーズは多種多様になってきており、市民の生活向上や自己の充実・啓発のため、各種生涯学習関係機関との連携の必要性が増してきている。

そこで、図書館、熊本博物館等の施設を活用し、市民のニーズに対応した多種多様な学習機会を提供し、学習の成果を豊かな地域づくりに生かせるシステムの構築を推進する。

(1) 生涯学習機会の充実と学習活動支援

図書館や博物館等において、市民のニーズや現代的課題に即した学習機会の充実と、市民の学習活動の支援に努める。

■ 図書館、博物館等の事業の充実

【図書館】 図書館においては、SDI（新着情報メール）サービス、BDS（図書盗難防止装置）の設置、子どもカウンターの設置、図書資料の検索・貸出予約を実施している。

【博物館】 博物館においては、毎月「子ども科学・ものづくり教室」を実施し、夏休みやゴールデンウィークには崇城大学、熊本高専等と連携して、「体験ミュージアム」などを実施している。また、平成18年度からは博物館情報システムの運用を開始し、インターネット等を通じて収蔵資料の検索、イベント情報等の提供を行っている。

■ ボランティアの育成

ボランティア活動に必要な基礎知識や技能、技術の習得のための講座を開催している。

< 図書館 >

※平成24年度実績

| コース名 | 学習内容 | 日時 | 場所 | 受講者数 |
|---------------------------|--|--|-------|---------------------------------|
| ボランティア養成講座・読み聞かせ入門講座(春) | 地域等における子ども読書活動推進のため、絵本の選び方や持ち方など、読み聞かせの基礎知識や技術等について学ぶ講座。 | 5/31・6/7・14・21 木曜日 10:00～12:00 | 市立図書館 | 26 |
| ボランティア養成講座・読み聞かせ入門講座(秋) | | 10/4・11・18・25 木曜日 10:00～12:00 | | 25 |
| 学校ボランティアのための読み聞かせ講座 | | 6/28 木曜日 10:00～12:00 | | 23 |
| ボランティア養成講座 おはなし小道具作り講座 | | 10/31 水曜日 10:00～13:00 | | 18 |
| ボランティア養成講座・紙芝居の演じ方講座 | | 紙芝居の抜き差しや発声など、紙芝居を演じるための基礎知識・方法等について学ぶ講座 | | 11/1・8・15 木曜日 10:00～12:00 |

■ 放課後子ども教室（放課後学校図書館開放事業）の実施

放課後における子ども達の安全・安心な居場所づくりを目指し、文部科学省が推進する放課後子ども教室のモデル事業として、平成20年度から小学校の図書館を利用して、学校図書館開放事業を実施している。（平成25年度は、碩台小学校、慶徳小学校及び一新小学校で実施）

| モデル実施校 | 平成22年度 | | 平成23年度 | | 平成24年度 | |
|--------|--------|------|--------|------|--------|------|
| | 登録人数 | 実施日数 | 登録人数 | 実施日数 | 登録人数 | 実施日数 |
| 小島小学校 | 35人 | 56日 | 13人 | 62日 | — | — |
| 清水小学校 | 35人 | 58日 | 35人 | 58日 | — | — |
| 帯山小学校 | 35人 | 50日 | 37人 | 26日 | — | — |
| 隈庄小学校 | 30人 | 50日 | — | — | — | — |
| 碩台小学校 | — | — | — | — | 15人 | 46日 |
| 慶徳小学校 | — | — | — | — | 24人 | 53日 |
| 一新小学校 | — | — | — | — | 36人 | 63日 |

(2) 図書館、博物館の利用促進と機能充実

生涯学習の拠点施設として、すべての市民が利用しやすい施設を目指し、効果的・計画的な施設整備と維持補修を行っている。

(3) 社会教育関係団体への活動の支援

青少年育成団体の活動の活性化を図るため、運営費の一部助成や指導を行っている。

熊本市PTA協議会 (構成団体：137単位PTA)

(4) 青少年の体験学習活動と交流活動の推進

教育施設の機能充実等による体験活動や、国内外の友好姉妹都市等との青少年交流の推進に努める。

■ 青少年国内・国際交流事業の実施

青少年教育の一環として、国内外の友好姉妹都市との交流活動を通して、親善を深めるとともに、次代を担う青少年リーダーを育成する。

○ 熊本市・サンアントニオ市交換留学生派遣及び受入事業

【派遣】

期 間：平成25年8月から10ヶ月以内

対 象：熊本市立必由館高校から3人、熊本市立千原台高校から1人 計4人

留 学 先：セントアンソニーカトリック高校へ4人

事業開始：平成4年度

【受入】

期 間：平成25年7月から平成25年11月

対 象：セントアンソニーカトリック高校から4人

留 学 先：熊本市立必由館高校へ2人、熊本市立千原台高校へ2人

事業開始：平成4年度

■ 子ども科学・ものづくり教室（博物館）

青少年に楽しく遊びながら科学の不思議や、ものを作る喜びを体験してもらうため、学校休業日や夏休みなどを利用して「子ども科学・ものづくり教室」を開催している。

| | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 |
|----------------------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 子ども科学・ものづくり教室 参加者 | 4,425人 | 4,820人 | 3,922人 | 4,443人 | 11,083人 |

(※20年度は保護者も含まれています)

■ 第二次熊本市子ども読書活動推進計画

○ 策定の趣旨

子どもの読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものである。

しかし、テレビやパソコン、携帯電話等の様々な情報機器の発達・普及などの生活環境の変化、更には、幼児期からの読書習慣の未形成などを背景とした「読書離れ」が指摘されている。

このような中、本市では、平成17年10月に「熊本市読書活動推進計画」を策定し、家庭、地域、学校、行政が連携協力しながら様々な取り組みを行ってきたが、第一次計画の期間が平成22年3月をもって満了となったことから、これまでの成果と課題を検証するとともに「熊本市第6次総合計画」や平成21年3月に策定した「熊本市生涯学習指針」等を踏まえた、「第二次熊本市子ども読書活動推進計画」を策定した。(計画期間：平成22年度～平成26年度の5年間)

○ 基本理念

本市では、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、関係機関、団体、事業者等が緊密に連携・協力しながら、積極的にそのための環境を整備し、豊かな感性や創造力、表現力などを備えた子どもをはぐくんでいく。

○ 基本方針

第一次計画の基本方針を継承した4つの基本方針のもと、子どもの読書活動を推進する。

・家庭、地域、学校における子どもの読書活動の推進

家庭をはじめ、地域や学校などにおいて、様々な機会をとらえ、読み聞かせや読書の時間など、継続的な読書活動の場を作ることにより、子どもたちが自然に読書に親しむきっかけづくりと読書習慣の基礎づくりを進めていく。

【取り組みの例】

- ・「家族で読書」運動の展開
 - ・市立図書館等での子ども向け行事の充実
 - ・全校一斉読書活動等の充実 等
- ・学校図書館と市立図書館等の機能充実
- 市立図書館等の豊富な図書資料や人的資源を有効に活用するとともに、子どもたちにとって身近な読書活動の拠点となる学校図書館の機能強化により、子どもたちの豊かな読書環境を確保していく。

【取り組みの例】

- ・図書資料の充実
 - ・快適な読書スペースの確保
 - ・ITを活用した情報提供
 - ・くまもと森都心プラザ図書館の活用 等
- ・民間団体等との連携・協力による子どもの読書活動の推進
- 子どもの読書活動を推進している民間団体等と連携・協力し、地域活動のネットワークづくりに取り組むなど、市民協働による子どもの読書活動を進めていく。

【取り組みの例】

- ・地域のボランティアグループと連携・協力したおはなし会等の実施
 - ・団体への絵本や児童書の貸出
 - ・各種ボランティア養成講座の開催 等
- ・子どもの読書活動の広報・啓発活動の推進
- 「子ども読書の日」や「読書週間」を中心とした読書推進事業や、子どもたちへの様々な機会を捉えた啓発活動の充実等を通じて、子どもから大人まで幅広い市民に対し読書活動への理解と協力を促していく。

【取り組みの例】

- ・市政だより等による情報提供
- ・「こどもの読書週間」にあわせた子ども向けイベントの開催 等